

神戸大学交響楽団

Summer Concert 2025

2025.5.10.(土)

18:00開演 (開場17:00)

場 所：尼崎市総合文化センター
あましんアルカイックホール

/ご/挨拶/

神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 大田美佐子



本日は神戸大学交響楽団 サマーコンサート 2025にご来場頂きありがとうございます。縁あって顧問という名前の応援団長を務めております。

曲目には、ブラームス交響曲第2番、シューベルトの未完成、そしてワーグナーのニュルンベルクのマイスタージンガーより前奏曲という、日本でも特に親しまれてきた珠玉の名曲が並びました。長い年月にわたり世界中で奏でられ、愛聴されてきた作品も、常に新しく今、この瞬間に生まれるのが音楽の魅力であり、醍醐味ですね。ぜひ神大オケならではの、瑞々しい響きをお楽しみください。

共演してくださる客演指揮の藏野雅彦先生、いつも変わらず楽団の演奏活動を支えてくださっているトレーナーの先生方、上田真紀郎先生、小谷康夫先生、徳田知希先生、中井信輔先生、長島徹先生、西内泉先生、村瀬司先生、土肥敬先生、小山亮先生にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

響友会会長
(神戸大学交響楽団OB・OG会)

八木 秀夫
(1970年入学 チェロ)



本日は神戸大学交響楽団 Summer Concert 2025にご来場賜り誠にありがとうございます。当交響楽団は本年で創団110周年を迎えることになりました。これまで活動が続けて来られましたのは、先輩方々・現役団員ばかりでなく多くの皆様のお蔭と改めて御礼申し上げます。

現役団員やOB・OGの演奏に接しますと世代を超えた何かの不思議な繋がりを感じることがあります。私自身は現役団員の演奏会に行く機会が多いのですが、その演奏で響いてくる音は私が在籍していた遙か昔（50年以上前）に体験したものに繋がるとどこか懐かしいものを感じてしまうのは私だけでしょうか（技術のレベルは到底比較にはなりません）。またOB・OGで俄か組成したオーケストラでも不思議と短時間でアンサンブルが出来る等世代を超えた何らかの繋がりを感じることがあります。現役団員時代は4年間で全員入れ替わってしまいますので、この長い歴史が関係しているのかも知れません。

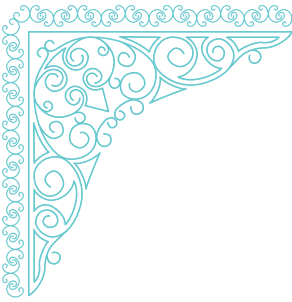
神戸大学交響楽団OB・OG会であります響友会と致しましては、人の繋がりを大切にし団への資金面精神面の支援や卒業者間の親睦・情報交換等を引き続き図って参りたいと思っております。

本日ご来場の皆さん方におかれましては、演奏をお楽しみ頂きそのような何かを感じて頂ければ幸いです。

神戸大学交響楽団団長 奥野陽太郎



本日はお忙しい中、神戸大学交響楽団Summer Concert 2025にお越しいただき、誠にありがとうございます。団員を代表して、厚く御礼申し上げます。さて、私たち神戸大学交響楽団はこの2025年に創立110周年を迎えました。冬には4回生が引退し、春には新しく1回生が入団する。そんな一定の周期を110年間繰り返し、“神大オケ”は現在に至ります。長年の歴史の中で先輩方が紡いできた“神大オケ”としての伝統は受け継がれながらも、その年々のメンバーで切磋琢磨し、その年々のベストを模索するという形で、毎年少しずつ新しいオーケストラに生まれ変わるのが学生オケの特徴でもあります。そういった意味では常に“未完成”である学生オケならではの良さを、どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。最後になりましたが、本演奏会を支えてくださる、諸先生方、OB・OGの皆様、各関係者の皆様、そして私達の音楽を楽しみにしてくださるお客様に、重ねて感謝申し上げます。



PROGRAM



神戸大学交響楽団 Summer Concert 2025

Kobe University Symphony Orchestra Summer Concert 2025

楽劇『ニュルンベルクのマイスタージンガー』より
第1幕への前奏曲(10分)

Die Meistersinger von Nürnberg Prelude to Act 1

R.ワーグナー

Wilhelm Richard Wagner

指揮 今西 夏輝
コンサートミストレス 塩月 佳穂

交響曲 第7(8) 番 短調「未完成」D759 (25分)

Symphony No.7 (8) in h minor "Unfinished", D759

I. Allegro moderato

II. Andante con moto

F.シューベルト

Franz Peter Schubert

指揮 藏野 雅彦
コンサートミストレス 清水 美景

休憩 (20分)

交響曲第2番 ニ長調 作品73 (50分)

Symphony No.2 in D Major, Op.73

I. Allegro non troppo

II. Adagio non troppo - L'istesso tempo, ma grazioso

III. Allegretto grazioso (Quasi andantino) - Presto ma non assai - Tempo I

IV. Allegro con spirito

J.ブラームス

Johannes Brahms

指揮 藏野 雅彦
コンサートミストレス 池田 愛花

2025年5月10日(土)18時00分開演

尼崎市総合文化センター あましんアルカイックホール

後援：兵庫県、神戸市、神戸市教育委員会、神戸新聞社、朝日新聞神戸総局、
公益財団法人神戸市民文化振興財団、兵庫県オーケストラ協議会





客演指揮 藏野雅彦 (Masahiko KURANO)

京都市立堀川高校音楽科を経て東京藝術大学卒業。トランペット奏者として活動後'87年指揮者としてのキャリアを開始。'92年ウクライナ国立響より招聘されマーラー交響曲第1番を指揮、同年京響演奏会でオネゲル作品等を指揮しプロデビューする。'02年文化庁派遣芸術家在外研修員としてオーストリア国立グラーツ芸術大学指揮科に留学、マルティン・ジークハルト教授に師事。グラーツ歌劇場においてフィリップ・ジョルダン氏よりオペラ指揮法を学ぶ。'04年ロシア国立ノヴォシビルスク・アカデミー響定期でマーラー、R.シュトラウス作品を指揮。'06年兵庫芸文センター開館事業として中西覚作のオペラ「おさん茂兵衛丹波歌暦」を指揮。同年安田結子作曲けいはんなフィル委嘱作品「シンフォニエッタ」の初演を指揮。'08年高昌帥作曲関西シティフィル委嘱作品「“あなたに”より」の初演を指揮。'16年平野一郎作曲八幡市委嘱作品「八幡大縁起」の初演を指揮。いずれも大きな成功を収めた。海外からの招聘にはヴェルディ「椿姫」、プッチーニ「蝶々夫人」のオペラ公演も含まれ成功を収めている。またアンドラーシュ・アドリアンFl、大嶋義実Fl、北村源三Tp、上田仁Tp、菊本和昭Tp、ジェイ・フリースマンTb、四方恭子Vl、漆原啓子Vl、上村昇Vc、藤森亮一Vc、北口大輔Vc、中村功Per、韓伽倻Pf、阿部裕之Pf、といった世界的音楽家と共演する。現在までにキーウ・シェフチェンコ国立歌劇場管弦楽団、ウクライナ・ナショナル交響楽団、ロシア・マリエル国立歌劇場、同管弦楽団、キーウ・ルイセンコ音楽院弦楽合奏団、京都市交響楽団、PACオーケストラ、大阪交響楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団、Osaka Shion Wind Orchestra をはじめ多くの楽団を指揮し好評を博す。第13回京都芸術祭京都府知事賞受賞。指揮を小泉和裕、マルティン・ジークハルト、田中良和、伊吹新一の各氏に師事。現在、京都教育大学講師、青山音楽財団理事。

※※トレーナーの先生方※※

上田	真紀郎	(指揮者、ヴァイオリン奏者、 相愛大学音楽学部・兵庫県立西宮高等学校音楽科、各非常勤講師)
土肥	敬	(フリーランスチェロ奏者)
小谷	康夫	(大阪交響楽団首席ティンパニ奏者、大阪音楽大学・大阪芸術大学講師、 近畿大学附属高等学校吹奏楽部指揮者、西宮市吹奏楽団常任指揮者、KSP All Stars音楽監督・常任指揮者)
小山	亮	(京都市交響楽団 前首席ホルン奏者)
徳田	知希	(大阪交響楽団 前首席トランペット奏者)
中井	信輔	(大阪交響楽団 副首席トロンボーン奏者)
長島	徹	(フリーランスオーボエ奏者、ソリスト)
西内	泉	(フリーランスヴィオラ奏者)
村瀬	司	(大阪交響楽団 前首席クラリネット奏者)

以上の先生方にご指導頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。